

8

昔から今へと続くまちづくり

わたしたちの地域^{ちいき}には、人々のくらしをよくするために、地域の開発・文化・教育・産業^{さんぎょう}などの発展^{はってん}につくした人々がいます。

ここでは、わたしたちの地域が、今のようになるまでには、昔の人々がどんな願^{ねが}いをもち、どのようなふうや努力^{どりょく}・苦心をして、地域のくらしを高めてきたのかを調べてみましょう。





↑ ア 南大東小学校の近くにある「玉置半右衛門記念碑」



「わたしたちの学校の近くに、記
ねん ひ
念碑があるよね。」



「きっと南大東村の発展につくし
た人の記念碑なんだろうな。」

だいちさんたちは、先生に何の記念碑
なのかをきいてみることにしました。

キーワード

開たく

かいせつ

新しい土地（島）をき
り開くこと。

つながる・ひろがる

▶ 八丈島の位置
(国土地理院)



これは、「^{たまおきはん えもん}玉置半右衛門記念碑」です。玉置半右衛門は、1900（明治 33）年に、初めて南大東島を開
^{かい}たくにみちびいた人だといわれています。

南大東島は、それまで^{じょうりく}上陸することさえむずかしい島でした。
しかし、^{とうきょう}東京のり島、^{はちじょうじま}八丈島出身の半右衛門は、1989 年に国
から^{かい}開たくのゆるしをもらい、^{なかま}八丈島の仲間 23 名をつのり、
1900 年 1 月 23 日に南大東島に上陸しました。

1

島を開たくした

たまおき

玉置

はんえもん

半右衛門

この時間の間い

玉置半右衛門は、
どのようにして
島を開たくして
いったのだろう。

つながる・ひろがる

▶ 南大東島の歴史
(村役場 HP)



↑ ア 南大東村立ふるさと文化センター

ふるさと文化センターをたずねて

いまりさんたちは、玉置半右衛門について調べるために、ふるさと文化センターをたずねて、係の人に話をきいてみることにしました。



ふるさと文化センターの係の人の話

南大東島は、昔は無人島でした。そのころ、沖縄の人たちは、この島のことを「ウファガリジマ（東の大きな島）」とよんでいたそうです。

1885（明治18）年に、沖縄県の調査によって、日本国の領土であることがしめされ、沖縄県となりました。その後、数名の人が開たくをころもみましたが、島に上陸することがむずかしく開たくをあきらめています。

玉置半右衛門が集めた23名は、1899（明治32）年11月に八丈島から船を出し、南大東島を目指します。しかし、風が強く海があれていたこともあり、島にたどりつくまでに60日もかかりました。よく年の1月23日に島にたどりついた一行23名は、現在の西港から島に上陸しました。

1838 (天保 9) 年	玉置半右衛門、東京都八丈島に生まれる。
1885 (明治 18) 年	南大東島が日本国の領土となり、沖縄県となる。
1892 (明治 25) 年	古賀辰四郎、南大東島の開たくのため船を出す。しかし、島への上陸ができずに開たくをあきらめる。その後も、数名の人たちが開たくをためすも上陸できずにあきらめる。
1899 (明治 32) 年	10 月 玉置半右衛門、八丈島にて開たく者を集める。 11 月 23 日 帆船回洋丸にて八丈島を出発し、南大東島を目指す (海があれたため、那覇港や馬天港にもどる)。
1900 (明治 33) 年	1 月 23 日 南大東島に着き、小舟で上陸地点をさがし、現在の西港を選んで上陸。
1901 (明治 34) 年	1 月 25 日 沖山権蔵、池を発見 (水の心配がなくなる)。
1902 (明治 35) 年	池野沢部落にて土地のわりあてがあり、農業が始まる。 人力によって、サトウキビから黒糖がつくられる。
	5 月 28 日 玉置半右衛門、製糖機械と技師・職人を連れて来島。
1910 (明治 43) 年	11 月 1 日 玉置半右衛門、病気にてなくなる。

↑ 南大東島の開たくにかかわる主なできごと



「島に上陸した後、どうやって生活していたのだろう。」

いまりさんたちは、年表を見て疑問に思ったことを係の人にたずねました。



↑ 西港の近くにある
上陸記念碑

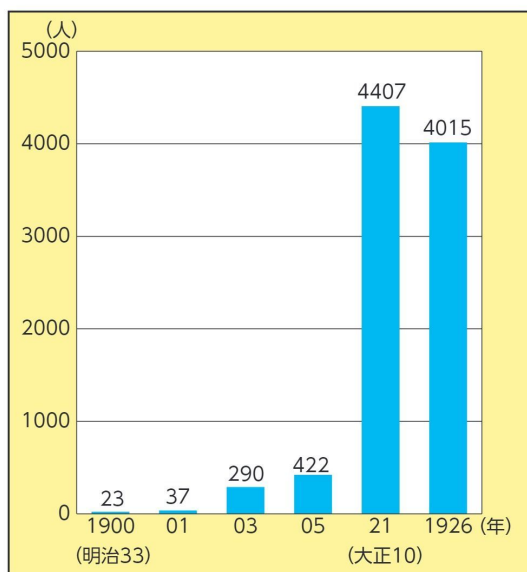


↑ 玉置半右衛門
(たまおきはんえもん)

ふるさと文化センターの係の人の話

島に上陸した開たく団は、森を切り開き生活する準備を進めていましたが、船で運んできた水が少なくなり、飲み水以外は海水を使っていました。飲み水がなければ生活ができません。

しかし、上陸して2日後、開たく者の一人、沖山権蔵が池を見つけたのです。水を見つけた開たく者たちは、あれた土地を切り開き農業を始めました。上陸の2年後には、人力によって黒砂糖がつくられました。上陸から10年後の1910年には、玉置半右衛門が黒砂糖づくりの機械と技師・職人を島へ運んできました。その後は、サトウキビづくりと製糖業が発展し、島外からも多くの働き手がやってきました。



↑ ア 南大東島の人口のうつり変わり



↑ イ 大正時代のサトウキビの積みこみ作業
鉄道 (シュガートレイン) が見える

この時間の問い

島の開たくは、
どのようにして
進められたのだろ
う。

南大東島の発展



「23 人だった人口が，1921 年に
は 4407 人にふえているよ。」



ふるさと文化センターの係の人の話

23 人で上陸した開たく民も，5 年後の 1905 年
には 422 人にふえました。島では畑を広げ，米や野
菜，サトウキビなどの作物も多くとれるようになりました。

玉置半右衛門は，無人島開たくを玉置商会として事業を進
め，サトウキビの生産や製糖事業を広げていきます。しかし，
1910 年に玉置半右衛門が病気でなくなると，次第に事業経営
がきびしくなってきました。そのため，玉置商会の事業は，
1916 年には東洋製糖へとうつされました。

製糖会社へ経営がうつると，耕作地が広げられ鉄道がつくら
れるなど，事業が大きく展開されます。1926 年には，島の人
口も 4015 人にふえていますが，沖縄県から 2742 人，東京
からも 1024 人の移住者があったようです。



「無人島だった島が、開たく民によって、サトウキビ産業のまちになったんだね。」



「沖縄や東京からも移住者がふえたんだね。その後、島の人々の生活はどうなったのだろう。」

ともやさんたちは、疑問^{ぎもん}に思ったことを係の人にたずねました。

ふるさと文化センターの係の人の話

東洋製糖がサトウキビ産業を大きくすること
とで、島外からの移住者も多くなり、4000
人以上にも人口がふえました。

人口がふえると、学校や病院、警察などの
公共的^{こうきようてき}なしせつ^{ひつよう}が必要となります。東洋製糖
は、それらのしせつを会社としてつくって
いきます。当時の島は、島全体が会社のものだ
たのです。

しかし、1925 年ごろになると、東洋製糖
の経営もきびしくなってきました。そこで、
1927（昭和^{しょうわ} 2）年には大日本製糖社に会社
の経営がうつります。大日本に経営がかわっ
ても、島の所有権^{しやうけん}は、製糖会社のままでした。

島の農地は全て製糖会社のもので、学校や
病院、警察なども全て会社のものだったの
です。島民には、土地の所有権はみとめられず
に、農家^{こさくにん}は小作人^{はたら つづ}として働き続けたのです。



↑ 玉置商会時代の
黒糖づくり



↑ 東洋製糖工場の
社員用の住たく

経営

かいせつ

もうけをえるために事業
を行うこと。

移住者

かいせつ

他の土地にうつり住む
人。

所有権

かいせつ

持つことがみとめられた
権利。

小作人

かいせつ

地主から土地をかりて農
業をする人。



↑ ア 島でおこなわれた軍事訓練 (1931 年)

↑ イ 島の人々も戦争へ送り出される

この時間の問い

南大東村のたん生

どのようにして
南大東村になったの
だろう。

うたこさんたちは、南大東島が南大東
村になったのがいつごろなのかを知りた
くなり、村役場をたずねました。



村役場の係の人の話

1939 (昭和 14) 年に第二次世界大戦が始まり、
1944 年ごろから島にも日本の軍隊が上陸し、数千
人の兵隊が島にやってきました。そのため、島の人々は沖縄本
島や他の土地にうつるよう命令され、2000 人近くの人が島を
はなれていきました。1926 年には 4000 人以上いた人口が、
1946 年には 1732 人となっています。

1945 (昭和 20) 年に戦争は終わりますが、南大東島も大
きなひがいを受けました。農地もはかいされ、製糖工場の機械
も使えなくなりました。また、戦争にまけた日本は、アメリカ
軍の占領下におかれ、戦争が終わっても自由に農業や仕事をす
ることができない生活が 1 年間ほど続きました。

1946 年 6 月 12 日、アメリカ軍の指導により、南大東島は
これまでの会社経営から独立します。住民による村制が可能と
なる南大東村がたん生し、伊佐栄久が初代村長となりました。

うたこさんたちは、南大東村になった後、人々の生活がどのように変わったのかを、役場の人にたずねてみました。



↑ 工 キャラウェイ
高等弁務官の銅像

村役場の係の人の話

南大東村となった島では、これまで製糖会社のものだったしせつ、学校や病院、警察などが公共のしせつへと変わりました。

戦争で使えなくなった製糖の機械も何とかしゅう理し、1947年には、戦後初の製糖が始まりました。しかし、土地の所有権は製糖会社のままでしたので、土地はいぜんとして製糖会社のものでした。そのため農民は、土地の所有権をうつしてほしいと要望する運動を展開します。

人々は土地の所有権をうつしてもらうために、琉球政府やアメリカ政府にもうったえ続けました。1964（昭和39）年、アメリカ軍のキャラウェイ高等弁務官が、「土地所有権は農民にある」との決定をくだしました。これによって、土地の所有権が農民の手にうつされることになりました。南大東村となつてから、18年後のことです。



↑ 工 キャラウェイ弁務官へうったえる島の人々



↑ 才 土地の所有権がみとめられたお祝いパレード



↑ ア 南大東小学校に建てられた「沖山岩作先生之像」



↑ イ 1919 (大正 8) 年の卒業写真

2 島の開たくと 学校教育

キーワード

寺子屋

かいせつ

江戸時代に読み・書き・そろばんを教えた所。

島の開たくと学校教育

だいちさんたちは、村の開たくについて調べていくうちに、島が開たくされているとき、子どもたちの勉強はどうしていたのか疑問に思いました。

そこで、校長先生に話をきいてみることにしました。



校長先生の話

1905 (明治 38) 年、玉置半右衛門は医者こじまの小島徹三てつぞうに、寺子屋てらこや式のじゅくを開くようお願いします。

島に上陸してから 5 年後のことでした。これが、南大東中学校の始まりだといわれています。

その後、1908 年 7 月 1 日に、八丈島はちじょうじまから沖山岩作おきやまいわさくが校長および教員としてまねかれ、玉置小学校が開校しました。当時の児童数は 78 人で、池之沢いけのさわの民家みんかが学校として使われました。

1917 (大正 6) 年には、高等学校も置かれ、私立南大東尋常高等小学校となりました。この小学校は、玉置商会から東洋製糖せいとう、さらに大日本製糖とおよそ 50 年にもおよび、製糖会社けいえいが経営するという全国でもめずらしい学校となりました。



↑ 1927 (昭和 2) 年の卒業写真



↑ 1936 (昭和 11) 年の卒業写真



「学校も 50 年間は、製糖会社の
ものだったんだね。」



「南大東村になると、学校はどう
なったのだろう。」

🔍 キーワード

私立

かいせつ

会社や個人がお金を出
してつくり、運営する
もの。

校長先生の話

戦争^{せんそう}が終わった後の 1946 (昭和 21) 年 6 月 12 日には、
南大東村になります。その 4 日後の 6 月 16 日に、私立から公
立^{せいしやとう}の 8 年制初等学校となりました。

1948 年には、六・三制がスタートし、初等学校が 6 学年と
なり、中等学校が新たにつくられました。7 年後の 1956 年に
は、コンクリートブロック建ての校^だしゃとなります。

1952 年には、教育委員会も設置^{せっち}され、学校も現在のような
小学校・中学校と変わりました。1972 年には、南大東村立南
大東小中学校に名前が変わりました。



← 1937 (昭和 12) 年
ごろの校しゃ西がわ

昔の学校の様子

今から 50 ～ 60 前

創立 100 周年記念誌より

給食^{きゅうしょく}は、パンと牛にゅうだけで、おかずをべん当として持ってきていました。べん当のおかずは、ポークや野菜^{やさい}いため、家でニワトリを飼っている人はたまごも入っていました。人によってべん当の中身もちがうので、おかずを見られるのがはずかしくて、かくしながら食べている人もいたとのことでした（給食センターができたのは、今から約 40 年前の 1982 年になります）。

給食で使った皿やコップは、自分たちであらっていました。また、パンを^{のこ}残して家に持ち帰ると妹がよろこんでいたとのことでした、パンも貴重な食べ物^{きちょう}だったようです。

当時の運動会は部落対こうなので、それぞれ公民館^{こうみんかん}や児童館^{じどうかん}に集まって、ユニフォームやゼッケンをつくっていました。運動会では鼓笛^{こてき}パレードがあり、そのユニフォームすがたはみんなのあこがれだったそうです。体育着の下は、女子はブルーマー、男子は白ズボンでした。運動会が近づくと、新しい運動ぐつや体育着を買ってもらえるのがうれしかったようです。

当時の学校にはプールがなく、年に 1 回、亀池^{かめいけ}での水泳教室が起こなわれていました（学校にプールができたのは、今から約 20 年前の 1992 年になります）。

遠足では、低学年が亀池坂^{かめいけざか}、高学年が日の丸山へ行きました。亀池坂では、坂をシロツパ（ビローの葉）に乗ってすべるのが一番の遊びでした。日の丸山では、防空壕^{ぼうくうごう}に入ることによって探検隊の気分になったそうです。中学生になると、修学旅行先が沖縄^{しゅうがく}本島で、万座毛^{まんざもう}や塩屋大橋^{しおや}へ行きました。

そのころの小学生は、土・日は畑^{てつだ}の手伝いがありましたので、

学校でみんなと遊ぶことがとても楽しかったとのこと。サ
トウキビのしゅうかく時期には、キビか^{てつだ}りの手伝いをするため
に学校を休む子どもたちもいました。

※「小学校創立 100 周年記念誌」の座談会の内容をまとめたものです。



↑ 今から約 40 年前の運動会



↑ 運動会での鼓笛パレード

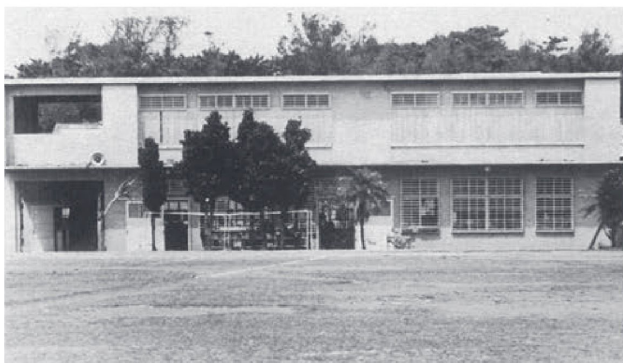


↑ 今から約 35 年前の運動会

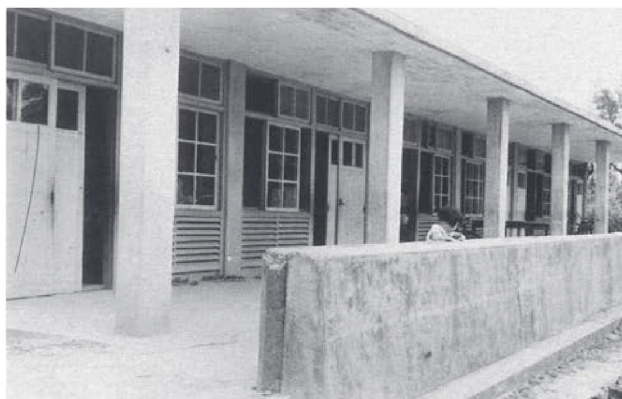


学校に体育館ができたのは、今
から約 50 年前の 1971 年です。

昔の学校について、お父
さんやお母さん、おばあ
ちゃんにも話をきいてみ
てね。



↑ 今から約 65 年前にコンクリートブロック建てになった校^だしゃ



これまでの学校の歩み

年	主なできごと
1905(明治38)年	医者 こじまつぞう の し 小島徹三氏 てらこやしき 、寺子屋式のじゅくを開き子弟 しえてい の教育を始める。
1908年	沖山岩作氏 おきやまいわさく (初代校長 しよだい)、池之沢 いけのさわ の民家 みんか に子どもたち78名を集めて学校を始める(南大東校の始まり)。
1910年	2階建ての校舎 こうしゃ にうつる。二部授業 じゅぎょう で児童数 じどう 142名、教員2名。
1913(大正2)年	現在の場所 げんざい に校舎がうつる。児童数220名、職員 しよくいん 4名で、二部授業を行っていた。
1915年	玉置尋常 たまおきじんじょう 小学校として、沖縄県 おきなわけん から正式にみとめられる。児童数319名。
1917年	高等科ができ、私立南大東尋常高等小学校と名前 な を変える。
1941(昭和16)年	国民学校令 こくみんがっこうれい により、南大東錬成学校 れんせい と名前を変える。
1945年	3月 戦争 せんそう のため、休校となる。
//	9月 戦争が終わり、授業 さいかい を再開する。
1946年	会社経営 けいえい の私立校が、公立 こうりつ の学校となる。南大東初等学校 しよとう と名前を変える(大日本製糖株式会社大東島製糖所 せいとうかぶしきかいしゃ 、解散のため)。
1948年	南大東中学校 せつち が設置される(6・3・3制 せい)
1952年	南大東村役場に教育委員会 いんかい がつくられる。
1956年	南大東村で初めてのコンクリートブロック建ての校舎が、建てられる。
1959年	南大東村学校開校50周年の記念祝賀会 しゅうねん きねんしゅくが が行われる。
1968年	小学校60周年、中学校20周年の記念式典 しきてん が行われる。
1970年	映画館 えいがかん にて、PTA総会 そうかい が行われる。
1971年	小中学校の体育館が建てられ、落成式 らくせいしき が行われる。
1972年	5月15日 南大東村立南大東小中学校と名前を変える。
1977年	第1回那覇地区中学校駅伝大会 なはちく えきでん にて、南大東中学校が1位(タイム1時間52分01秒)となる(2位首里中学校 しゅり のタイムは1時間52分13秒)。オブザーバー参加のため特別賞 とくべつしょう の受賞となる。
1978年	小学校創立70周年、中学校創立30周年の記念式典が行われる。
//	校門から運動場までコンクリートでほそうされる。
//	各教室へのせんぷう機 き 取り付け工事が完成 かんせい する。

年	主なできごと
1979年	村立幼稚園の開園式が行われる(村立幼稚園の始まり)。
1980年	幼稚園の園舎が建てられ、落成式が行われる。
1981年	小学校に二階建ての新校舎が建てられ、落成式が行われる。
//	朝の読書会がスタートする。
//	第1回新報児童オリンピックに参加する。
1982年	中学校新校舎と学校給食しせつが建てられ、落成式と祝賀会が行われる(全校いっせい会食の始まり)。
1985年	小中学校の体育館が建てかえられ、落成式が行われる。
//	中学校に特別教室が新しくつくられる。
1987年	海邦国民体育大会の炬火リレーが行われる。
1988年	小学校の特別教室(職員室、音楽室など)が新しくなり、落成式が行われる。
//	小学校創立80周年、中学校創立40周年の記念式典と記念行事が行われる。
1992(平成4)年	南大東小中学校にプールがつくられ、落成式が行われる。
1995年	特殊学級の設置がみとめられる(小中学校)。
1996年	村制50周年にあたり、「人材をもって資源となす」を村是と定め、「教育立村」を宣言し、式典と祝賀会が行われる。
1997年	中学校に、ひまわり学級教室がつくられる。
1998年	柔剣道場がつくられ、落成式が行われる。
1999年	クーラーの運転が始まる。
2000年	開拓百周年の記念式典と祝賀会が行われる。
2001年	小学校に、ひまわり学級教室がつくられる。
2003年	JICA研修員(りゅうがく生)との交流会が行われる。
2008年	創立百周年の記念式典、除幕式、祝賀会が行われる。
2010年	沖縄県吹奏楽コンクール(Bパート)最優秀賞授与(12年連続)。
2020(令和2)年	4月新型コロナウイルス感染拡大予防緊急事態宣言により休校。
2021年	10月29日「南大東村小中学校屋内運動場」の落成。

南大東村小学校社会科副読本編集委員会委員（平成16年3月初版）

監	修	照屋	林 伸（南大東村教育委員会 教育長）
		宮 城	克 行（南大東村教育委員会）
編 集 委 員 長		野 村	哲（南大東小学校 校長）
副編集委員長		東	健 策（南大東小学校 教頭）
		盛	正 弥（南大東小学校 教頭）
編 集 委 員		松 田	勝 徳（南大東小学校 教諭）
		新 垣	純 子（南大東小学校 教諭）
		中 山	盛 延（南大東小学校 教諭）
		宮 城	信 彦（南大東小学校 教諭）
		東 江	一 郎（南大東小学校 教諭）
		金 城	貴 裕（南大東小学校 教諭）
		東	和 明（島まるごと館 館長）
	事 務 局	与世田	佳代子（南大東村教育委員会）
金城		美智子（南大東小学校事務員）	

南大東村小学校社会科副読本編集委員会委員（平成23年3月二版）

監	修	照屋	林 伸	（南大東村教育委員会 教育長）
		川 満	廣 司	（南大東村教育委員会）
編 集 委 員 長		山 城	勝 秀	（南大東小学校 校長）
副編集委員長		與古田	思 信	（南大東小学校 教頭）
		佐 久 田	悟	（南大東小学校 教務）
編 集 委 員		金城	智可子	（南大東小学校 教諭）
		保 良	聡 子	（南大東小学校 教諭）
		當 山	真 人	（南大東小学校 教諭）
		下 地	美喜子	（南大東小学校 教諭）
		島 袋	真 紀	（南大東小学校 教諭）
		石 川	亮	（南大東小学校 教諭）
		大城	かおり	（南大東小学校 教諭）
		東	和 明	（島まるごと館 館長）
事 務 局		宮 城	優 子	（南大東村教育委員会）
		宮 里	政 岳	（南大東小学校事務員）

南大東村小学校社会科副読本編集委員会委員（令和 5 年 3 月 三版）

監 修	宮 平 美智子（南大東村教育委員会 教育長）
編集委員長	望 月 雄 紀（南大東小学校 校長）
副編集委員長	眞喜志 和人（南大東小学校 教頭）
3 年編集委員	野 村 亮（南大東小学校 教諭）
	稲 福 修 平（南大東小学校 教諭）
4 年編集委員	影 嶋 智 大（南大東小学校 教諭）
	影 嶋 園 子（南大東小学校 教諭）
事務局	城 間 政 克（南大東村教育委員会）
	野 村 謙 太（南大東村教育委員会）

編集協力・写真協力（敬称略・順不同）

南大東村役場／南大東村クリーンセンター／南大東村エコ・センター／環境美化センター（嘉手納町）／
南大東村海水淡水化施設（沖縄県企業局）／沖縄観光コンベンションビューロー／南大東村污水处理施設
／沖縄气象台（宮古島台風被害）／一般社団法人消防防災センター（自然災害 益城町・佐呂間町・朝倉市）
／南大東島地方气象台／沖縄市エイサー会館／沖縄市立郷土博物館／世界エイサー大会事務局／南大東村
青年連合会／沖縄市広報課／大東太鼓碧会／南大東村立ふるさと文化センター／ホテルよしざと／JA おき
なわ A コープ 南大東店／イオン琉球／大東糖業／南大東村駐在所／東 和明／沖縄県公文書館

参考文献（順不同）

「南大東村の伝統行事と祭事 島の祭」（南大東村役場）／「南大東村 島の名所・名物」（南大東村役場）
／「南大東村 軌跡の写真集」（南大東村役場）／「南大東村開拓百周年記念誌」（南大東村役場）／「南
大東島の人と自然」（株式会社南方新社）／「南大東村誌」（南大東村役場）

社会科副読本『わたしたちの南大東村』 デジタルブック 3・4年生

平成 16 年 3 月 初版印刷発行

平成 23 年 3 月 二版印刷発行

令和 5 年 3 月 三版発行（デジタルブック）

編集発行 南大東村教育委員会

〒901-3895 沖縄県島尻郡南大東村字南 144 番地 1

電話：09802-2-2531 FAX：09802-2-2557

<http://www.vill.minamidaito.okinawa.jp/>

執筆編集制作 合資会社 沖縄時事出版

〒900-0025 沖縄県那覇市壺川 1-3-10

電話：098-854-1622 FAX:098-855-7163

<https://www.oki-jiji.com/>



村章

南大東村の「ミナミ大」を円形図案化し、
 上の6本の線はミナミの「ミ・ミ」で村内6字を、
 下の半円は「ナ」で村の飛躍を、
 中央は「大」で村民の団結を表現したものです。
 昭和51年12月27日制定

村の花 ハイビスカス



村の木 ダイトウビロウ



南大東村民憲章

わたしたちは、

太平洋に浮かぶ緑あふれる島

南大東村をこよなく愛し、

この島に住むことを誇りとし、

未来へ向かって発展する道しるべとして、

村政四十周年にあたり、

ここに村民憲章を定めます。

一、視野を広げ、進取の精神を養い

活力にみちた村をつくりましょう。

二、教育を大事にし、文化を育て

生きがいにあふれた村を

つくりましょう。

三、働くよろこび、生産を高め

豊かな村をつくりましょう。

四、自然を愛し、環境を育て

住みよい村をつくりましょう。

五、力をあわせ、心をふれあい

明るい村をつくりましょう。



ダイトウオコウモリ



ダイトウヒラクワガタ



ダイトウコノハズク